



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 フルテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6546 URL http://www.fulltech1963.com
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古野 重幸
 社長執行役員
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 田中 康之 (TEL) (011)-222-3572
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	2,239	△2.3	△4	—	0	△99.6	△9	—
30年3月期第1四半期	2,292	—	27	—	138	—	100	—

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 6百万円(△94.6%) 30年3月期第1四半期 122百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	△1.73	—
30年3月期第1四半期	18.73	—

(注) 1. 当社は平成29年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成30年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 平成30年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。平成30年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第1四半期	9,373	5,598	59.7
30年3月期	9,644	5,683	58.9

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 5,598百万円 30年3月期 5,683百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	17.00	27.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	10.00	—	17.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	7,800	—	450	—	460	—	280	52.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年12月期は決算期変更の経過期間となり、9ヶ月間(平成30年4月1日~平成30年12月31日)を対象とした変則決算となっております。このため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	5,367,800株	30年3月期	5,367,800株
② 期末自己株式数	30年12月期1Q	125株	30年3月期	125株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	5,367,675株	30年3月期1Q	5,367,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善を背景に、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加がみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、欧米の政策動向に対する懸念や海外経済の不確実性等から景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、リニューアルのトータル受注の推進や新規物件の選別受注強化による収益性の向上、業務プロセスの見直しによる生産性向上等に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は2,239百万円（前年同四半期比2.3%減）となり、53百万円の減収となりました。これは主に、建具関連事業においてステンレスサッシが低調に推移したことによるものであります。

営業損失は4百万円（前年同四半期は営業利益27百万円）となり、32百万円の減益となりました。これは主に、売上総利益が783百万円（前年同四半期比1.7%増）となった一方で、需要拡大に備えた積極的な採用や昇給率3.6%の実施による人件費の増加により、販売費及び一般管理費が787百万円（前年同四半期比6.1%増）となったことによるものであります。

経常利益は0.5百万円（前年同四半期比99.6%減）となり、137百万円の減益、親会社株主に帰属する四半期純損失は9百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益100百万円）となり、109百万円の減益となりました。これは主に、前年は営業外収益に匿名組合投資利益104百万円の計上があったことによるものであります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動ドア関連

新規の自動ドア販売台数は減少したものの、シートシャッターの販売増に加え、保守契約台数の堅調な増加により、売上高は1,604百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益（営業利益）は348百万円（前年同四半期比0.8%増）となりました。

② 建具関連

足元の受注は前年同期比を上回り好調に推移した一方で、当第1四半期連結累計期間における引渡物件が前年同期比で減少した結果、売上高は473百万円（前年同四半期比19.1%減）となり、セグメント損失（営業損失）は32百万円（前年同四半期は26百万円のセグメント損失（営業損失））となりました。

③ その他

環境機器事業、付帯事業が堅調に推移した結果、売上高は160百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益（営業利益）は22百万円（前年同四半期比18.7%増）となりました。

今後の見通しとしましては、リニューアル及び建具関連事業の受注は好調に推移していることに加え、保守契約台数も堅調に増加していることから、第2四半期以降は業績の回復を見込んでおります。

従って、当第1四半期連結累計期間の実績は、平成30年12月期通期の業績予想に対して、売上高は28.7%の進捗率、各段階利益については経常利益を除き赤字のため進捗率は0%となっておりますが、同業績予想値は達成可能なものと当社グループでは考えております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産額は、9,373百万円となり、前連結会計年度末と比べ271百万円の減少となりました。これは受取手形及び売掛金が793百万円減少した一方で、現金及び預金が293百万円、仕掛品が150百万円増加したこと等によるものであります。

負債総額は、3,774百万円となり、前連結会計年度末と比べ186百万円の減少となりました。これは支払手形及び買掛金が326百万円減少した一方で、賞与引当金が143百万円増加したこと等によるものであります。

純資産総額は、5,598百万円となり、前連結会計年度末と比べ84百万円の減少となりました。これは配当金91百万円の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月11日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,254,799	2,548,432
受取手形及び売掛金	2,239,751	1,446,339
電子記録債権	534,099	409,356
仕掛品	862,120	1,012,694
原材料及び貯蔵品	179,600	195,812
その他	348,897	530,899
貸倒引当金	△6,104	△5,772
流動資産合計	6,413,163	6,137,763
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,066,153	1,048,865
土地	990,273	987,617
その他(純額)	140,843	128,517
有形固定資産合計	2,197,270	2,164,999
無形固定資産		
その他	130,977	120,369
無形固定資産合計	130,977	120,369
投資その他の資産		
その他	923,554	970,721
貸倒引当金	△20,181	△20,181
投資その他の資産合計	903,372	950,539
固定資産合計	3,231,620	3,235,909
資産合計	9,644,784	9,373,672

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,163,248	1,837,019
短期借入金	43,736	30,536
未払法人税等	142,868	41,719
賞与引当金	130,056	273,447
製品保証引当金	4,804	4,823
工事損失引当金	1,258	729
その他	817,907	949,735
流動負債合計	3,303,878	3,138,008
固定負債		
長期借入金	46,938	41,604
役員退職慰労引当金	183,640	188,799
退職給付に係る負債	403,866	387,513
その他	22,813	18,816
固定負債合計	657,257	636,733
負債合計	3,961,136	3,774,742
純資産の部		
株主資本		
資本金	329,304	329,304
資本剰余金	289,864	289,864
利益剰余金	4,991,775	4,891,261
自己株式	△200	△200
株主資本合計	5,610,743	5,510,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151,694	166,013
退職給付に係る調整累計額	△78,790	△77,312
その他の包括利益累計額合計	72,903	88,700
純資産合計	5,683,647	5,598,930
負債純資産合計	9,644,784	9,373,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,292,885	2,239,294
売上原価	1,522,798	1,456,094
売上総利益	770,086	783,199
販売費及び一般管理費	742,251	787,514
営業利益又は営業損失(△)	27,835	△4,314
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2,178	2,081
貸倒引当金戻入額	683	331
作業くず売却益	3,120	1,994
匿名組合投資利益	104,517	—
その他	2,530	1,874
営業外収益合計	113,029	6,282
営業外費用		
支払利息	299	105
その他	2,134	1,325
営業外費用合計	2,433	1,430
経常利益	138,431	537
特別損失		
固定資産除却損	215	—
減損損失	—	2,656
ゴルフ会員権評価損	250	—
特別損失合計	465	2,656
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	137,966	△2,119
法人税、住民税及び事業税	63,969	32,435
法人税等調整額	△26,568	△25,291
法人税等合計	37,401	7,144
四半期純利益又は四半期純損失(△)	100,565	△9,263
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	100,565	△9,263

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	100,565	△9,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,045	14,319
退職給付に係る調整額	421	1,477
その他の包括利益合計	21,467	15,796
四半期包括利益	122,032	6,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,032	6,533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,547,278	585,049	2,132,327	160,557	2,292,885
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	5,717	5,717
計	1,547,278	585,049	2,132,327	166,274	2,298,602
セグメント利益 又は損失(△)	345,431	△26,989	318,442	18,563	337,005

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	318,442
「その他」の区分の利益	18,563
全社費用(注)	△308,337
棚卸資産の調整額	△9,831
その他の調整額	9,000
四半期連結損益計算書の営業利益	27,835

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	自動ドア関連	建具関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,604,892	473,597	2,078,489	160,804	2,239,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	5,955	5,955
計	1,604,892	473,597	2,078,489	166,760	2,245,250
セグメント利益 又は損失(△)	348,075	△32,919	315,155	22,031	337,186

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「駐輪システム事業」、「環境機器事業」、「セキュリティ事業」、「付帯事業」、「商品販売事業」等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	315,155
「その他」の区分の利益	22,031
全社費用(注)	△334,313
棚卸資産の調整額	△16,187
その他の調整額	9,000
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△4,314

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。